

# 日本学術振興会特別研究員 審査員経験者からの評価の視点

(DC2, PDの審査経験を元に)

基盤理工学専攻 教授 沈 青

# 特別研究員審査経験（DC2とPD）


審査担当分申請一覧 研究者養成事業

事業名（申請資格）： **特別研究員-DC2** すべての申請の審査が完了しています。ご協力ありがとうございました。

審査員名：

<注意事項>

- 総合評価をクリックすると、選択した総合評価の申請のみ一覧に表示されます。
- PDFファイルの内容を確認するには、Adobe Acrobat Readerが必要です。まだインストールしていない方は下のボタンをクリックしてインストールしてください。



総合評価	未入力	<a href="#">すべて</a>	<a href="#">5</a>	<a href="#">4</a>	<a href="#">3</a>	<a href="#">2</a>	<a href="#">1</a>	<a href="#">-(利害関係者)</a>
目安			10%	20%	40%	20%	10%	
現在の割合	0/67 件	67 件						0 件

「総合評価：未入力」の申請が表示されています。すべての審査結果を表示する場合は、総合評価の「すべて」をクリックしてください。

JSPSの指示で、最終的に5段階に上限数&下限数が設けられている。つまり、絶対評価というよりも**相対評価**になる。

# 審査委員のチェックリスト

- ✓ 着想に至った経緯が説明できているか。
- ✓ 自分のアイデアのポテンシャルを説明できているか。
- ✓ 先行研究等との違いをきちんと示せているか。
- ✓ 研究計画に独創性があるか。
- ✓ 研究背景、問題提起、提案に至る一連の説明が論理的にできているか。
- ✓ 具体的で実現できそうな研究計画を示せているか
- ✓ 先行研究が十分に示されており、自身の研究の優位性が示せているか
- ✓ 提案する課題が研究分野にどの程度の影響をもたらすかを過大過少な  
く検討出来ているか
- ✓ 困難があった場合に解決する方法を考えているか。
- ✓ これまでの研究実績等、研究に関する強みがあるか。
- ✓ 申請者の分担を示せているか。（1人でやるなら明記する。）
- ✓ 自身の弱みを把握し、克服しようとしているか。
- ✓ 目指す研究者像と、そこに至るために必要な要素を挙げられているか。

\*これらをもとに各項目（各5点満点）で評価して、申請者を5段階に分ける。  
各項目（能力と業績、計画、受入体制（PD））

## 審査員（大学教員）の事を考える。

- 審査員は1人で数十人分の書類を読む
- 審査する期間は短い
- 審査員の専門分野以外の申請書がほとんど  
(内容を理解してもらう事が難しい)

最初のページと業績欄を見て「有望」 or Notを分類

最初のページで審査員の目を引く努力

- 業績は日ごろの努力の積み重ね

# 実際に審査で行ったこと

## 1. 最初に5段階に振り分け

1度に数10件の申請書が届いたので、最初の段階で、以下の①～③を元に、**ざっと**点数をつけて5つ（5段階）に振り分けた。JSPSの指示で、最終的に5段階に上限数&下限数が設けられている。つまり、絶対評価というよりも**相対評価**になる。

### ①タイトル

- 期間内にできる内容かどうか？
- 審査委員（私）の専門に近いかどうか？

### ②業績

- 論文（雑誌（IF）、筆頭著者）
- 受賞（学会賞など）
- 外部資金
- 特許
- 学会発表

### ③内容

- しっかりかいているかどうか。

\* 空白を目立つと減点。

## 業績の数で「有望」をアピール

審査員によっては第一に業績欄を見る場合も



### 客観的に評価しやすい項目

- 一番はやっぱり筆頭著者の論文の本数（IFよりも）  
DCが欲しいなら「一年に一本以上書く努力」（ノルマ）

論文以外の業績を常に考えながら活動

- 学会での受賞を狙う（学会規模は関係なし）＝第三者からの評価の証
- 特許（特願）＝日本の科学技術に貢献（日頃から特許化を考えておく）

論文等の成果が無くても諦めない

- 実験機器の使用経験
- 国際学会での口頭発表
- 新聞報道
- 留学経験
- 研究進捗管理の方法や工夫（マネジメント）
- 財団などの助成実績

自分の強みを研究に結び付けてアピールする！

# 実際に審査で行ったこと

## 2. 各段階の詳細チェック（続き）

DC2は、学生なので、期間内に成果が出て、学位（博士）が取れるかどうか、その実力が感じれるかどうか。PDは、これから先、自立して研究者としての実力を感じれるかどうかをチェックリストを元に、**総合的に**評価した。

専門外の申請書が多いので、パット見て読みやすく**具体的にかつ丁寧**に書いてくれると評価は必然と高くなる。審査員に親切な書類がよい。つまり考えさせる（悩ませる）書類は、うんざりしてしまう。

### ①本文（形式）

- まずは、**パット見て読みやすい書類**。  
適度な行間、目に優しい字体、レイアウト（箇条書き）など。  
白紙のスペースが多いと、やる気がないと判断。
- **図や表**を用いてわかりやすい書類。各セクション（ページ）に1つずつあると良い。だらだらの文章は、読むのもうんざりします。
- 省略文字は、あまり頻繁に使用しない方がよい。セクションごと。
- 重要な語句は、説明があった方がよい。（）書きでもよい。
- **書類はモノクロなので**、強調したいところは、文字の装飾、下線、フォントサイズを適度に**工夫した方がよい**。

# 実際に審査で行ったこと

## 2. 各段階の詳細チェック（続き）

### ②本文（内容）

- **先行研究**（論文、特許）がしっかり明示されているか。  
これがないと、研究の目的を書かれても意義がさっぱり分からない。
- 期限内に成果が得られ、**論文の計画**（時期、雑誌名、内容など）、**国内外の学会発表**（時期、学会名、内容など）の計画が示されているか。  
DC2であれば2本以上、PDなら3本以上の論文。  
計画表があると良い。
- DC2もPDも基本申請者が中心的に研究を行うもの。  
指導教員、協力者がいるのは自明なので、分担者など書くと印象が悪い。

### ③業績

- DC2なら論文数最低1本以上、PDなら最低3本以上は必要。  
いずれも筆頭著者。  
他の人と同数の場合は、IF数の高い雑誌。2<sup>nd</sup>およびプロシーディングは、筆頭著者の半分で評価した。
- 全国規模の国内会議、歴史のある国際会議の学会発表賞なども加算評価。
- 外部資金の獲得実績も将来の研究者の資質ありと加算評価。



# 実際に審査で行ったこと

## 2. 各段階の詳細チェック（続き）

### ④その他

- 指導教員のコメント（推薦文）も重要。  
空白が多い場合は、申請者の将来が心配になる。
- 申請する分野も重要。  
申請者の専門分野でないほうがいい場合もある。  
先を見据えた分野でもよい。  
専門外の申請書だと審査も少し甘くなった気がする。

## 3. 最後に

最初にざっと5段階に分け、それぞれ詳細にチェックして採点をして、再度5段階に分けた。

採択のポイントは、内容・計画もとても大事だが、本人の研究能力があるかどうか。正直、申請書に大きな差は感じられない場合では、客観的に評価できる**学術論文**が重要。1st著者の学術論文を1つでも書くことが採択の1番乗りと感じます。

## 読みやすい書類を心掛ける

- ✓ 指示された通りの構成になっているか？
- ✓ 専門用語だらけになっていないか？
- ✓ 1文1文が長すぎているか？主語述語はあるか？
- ✓ 文字のサイズは適切か？ ・ 11ptが良い。 ・ 図の中の文字も
- ✓ 研究内容が伝わる概略図はあるか？
- ✓ 白黒印刷向けに作成しているか？
- ✓ 本文中の文献引用などの表記スタイルは揃っているか？
- ✓ 重要な箇所は、太字や下線、斜体などで区別できているか？



重要な箇所は**太字** (MSゴシックなど)

重要な箇所は**太字＋下線** or **斜体＋下線**

使い過ぎると逆効果になるので注意する！

押さえるべき項目は必ずチェックした上で

自分が優秀であることを伝える。  
(これに尽きる)

- ✓ 私の研究は世の中を変えられるんだ。
- ✓ 私の研究成果は素晴らしいんだ。
- ✓ 素晴らしいアイデアを持っている。
- ✓ 私に研究者として投資してくれ。



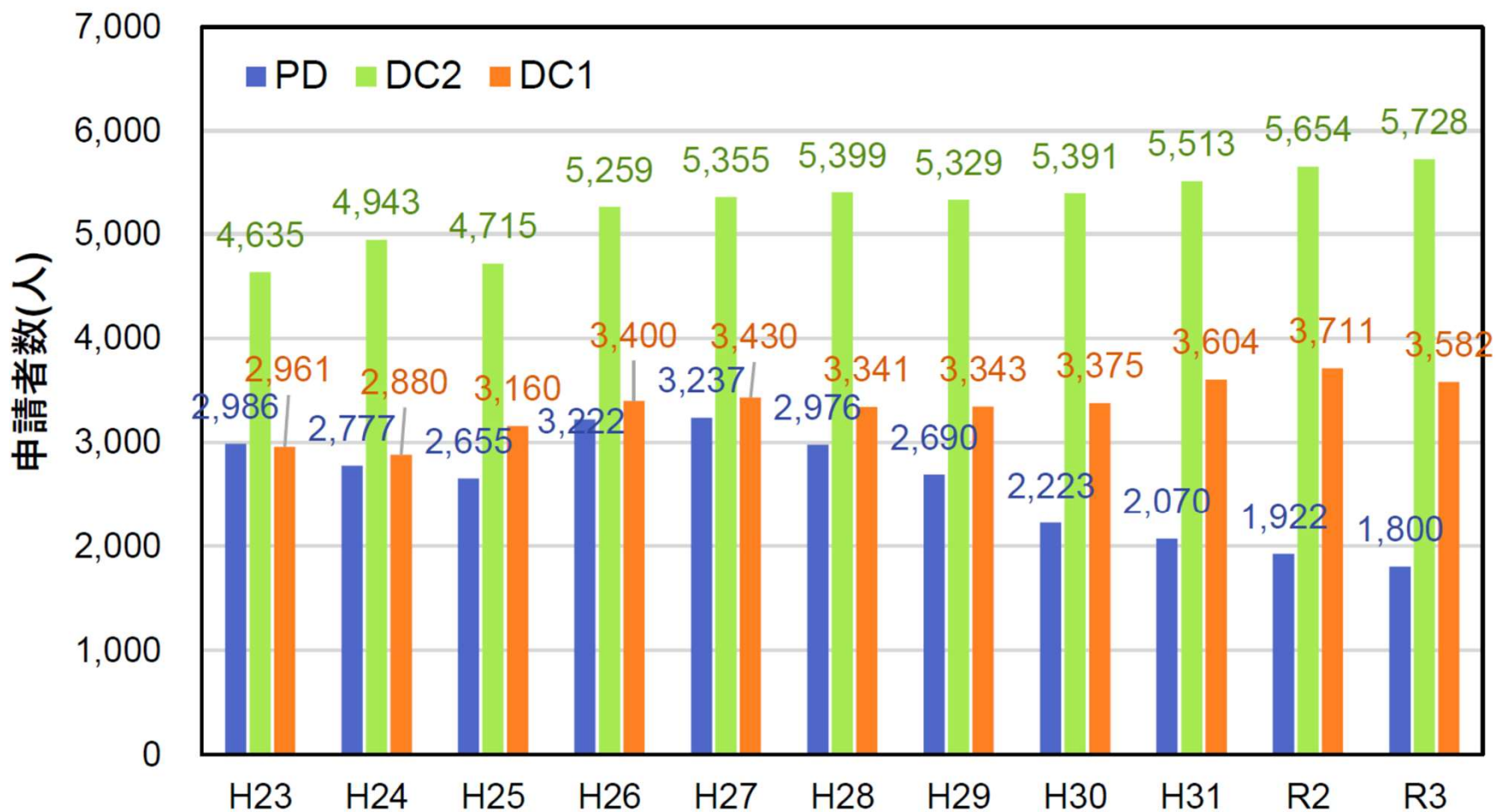
ありがとうございました！

## • 学振 (がくしん) とは

- 「日本学術振興会 特別研究員 DC1/2, PD, RPD, CPD」 制度
  - 「DC1」とか「学振PD」とか略することが多い
- 3年間 or 2年間, 生活費 (特別研究員研究奨励金) がもらえます
  - DC1, DC2 : 20万円/月
  - PD, RPD : 36.2万円/月
  - CPD : 44.6万円/月 (PD採用者が応募できる海外渡航枠)
- 募集要項を良く読みましょう
  - 申請先は基本的には以下の通り (医学系等の4年制Dは少し異なります)
    - M2→DC1 (3年)
    - D1/D2→DC2 (2年)
    - D3以上→PD (3年)
- DCは途中で学位を取ったらPDに変更されます、が、研究奨励金は20万円のままです

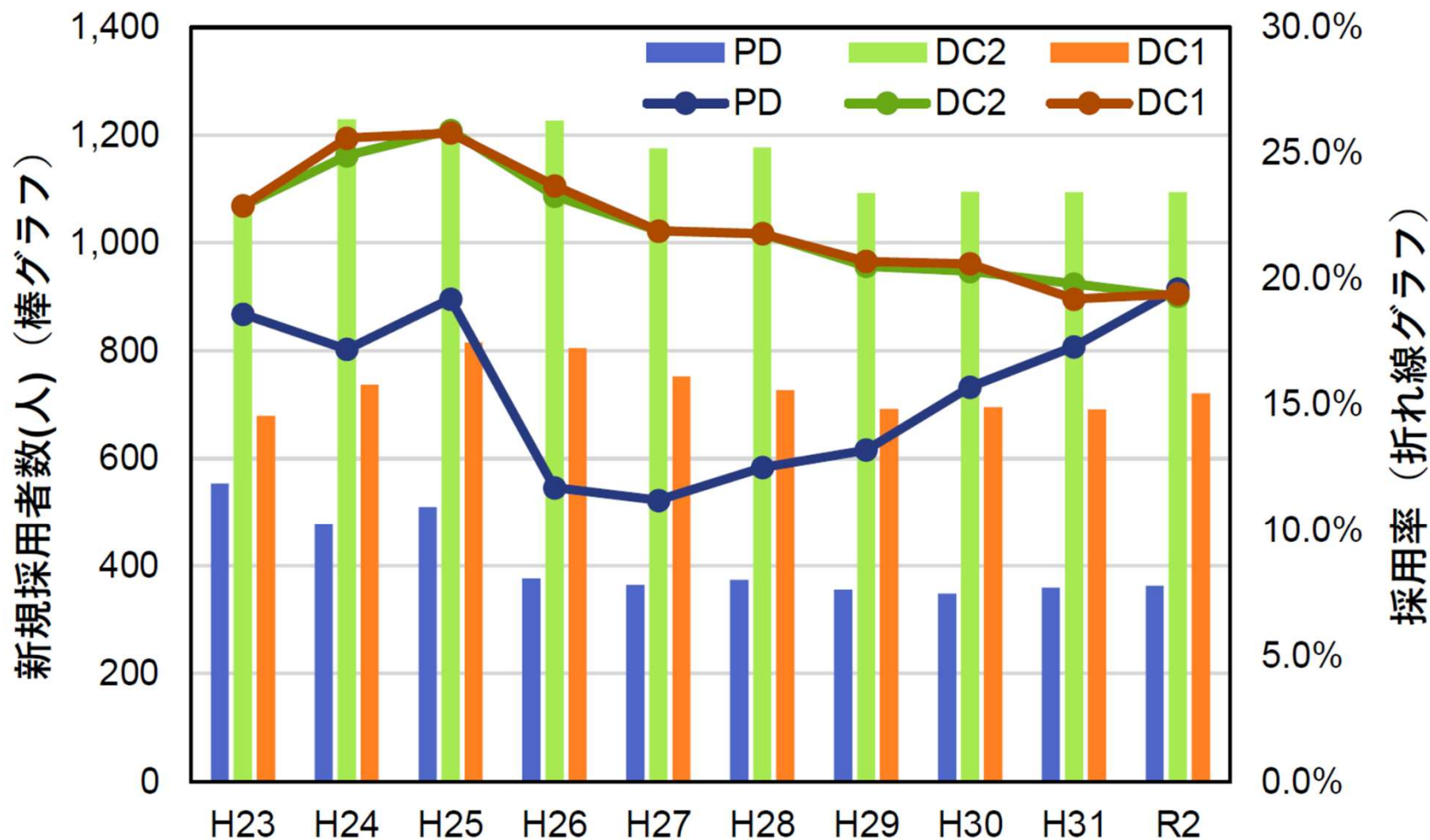
## 最近の申請者数

日本学術振興会 特別研究員等説明会資料、申請状況などから大上作成



## 最近の採用者数と採用率

日本学術振興会 特別研究員等説明会資料、申請状況などから大上作成





## 領域毎の採用者数

H31データ。日本学術振興会 特別研究員等説明会資料 (R2.2.20) より

区分	SPD		PD		DC2		DC1		計	
	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数	申請数	採用数
人文学	-	2 (2)	419 (183)	72 (32)	624 (293)	123 (56)	384 (160)	73 (27)	1,427 (636)	270 (117)
社会科学	-	2	308 (117)	49 (18)	672 (290)	132 (52)	375 (147)	71 (22)	1,355 (554)	254 (92)
数物系科学	-	2	443 (49)	69 (4)	725 (76)	143 (11)	584 (75)	113 (16)	1,752 (200)	327 (31)
化学	-	1	88 (7)	12	486 (74)	98 (6)	342 (51)	66 (9)	916 (132)	177 (15)
工学系科学	-	2	113 (14)	15	1,069 (141)	214 (28)	548 (69)	103 (10)	1,730 (224)	334 (38)
情報学	-	1 (1)	43 (11)	8 (1)	325 (53)	64 (8)	247 (31)	46 (6)	615 (95)	119 (16)
生物系科学	-	1	205 (52)	34 (8)	456 (123)	91 (29)	358 (111)	69 (19)	1,019 (286)	195 (56)
農学・環境学	-	2 (1)	216 (61)	40 (13)	513 (185)	103 (31)	338 (113)	65 (18)	1,067 (359)	210 (63)
医歯薬学	-	2	235 (76)	45 (13)	643 (229)	126 (38)	428 (135)	85 (25)	1,306 (440)	258 (76)
計	-	15 (4)	2,070 (570)	344 (89)	5,513 (1,464)	1,094 (259)	3,604 (892)	691 (152)	11,187 (2,926)	2,144 (504)

・31年度の採用率は、PD(SPD含む): 17.3%、DC2: 19.8%、DC1: 19.2%、全体で19.2%

・( )内は女性の数で内数